

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-143891

(43)Date of publication of application : 28.05.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/30

H04N 5/44

(21)Application number : 09-304449

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 06.11.1997

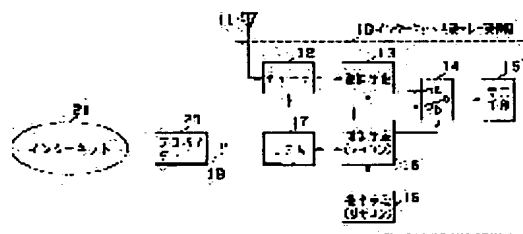
(72)Inventor : ONDA TETSURO

(54) TELEVISION RECEIVER WITH BUILT-IN INTERNET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate to return to a desired home page from a browsed home page even in a little storage capacity by automatically storing the history of a URL of a home page every time the home page is retrieved and browsed.

SOLUTION: A receiver 10 is connected to the internet 21 from a modem 17 that is connected to a controlling means 16 via a telephone line 19 and a provider 20 and is provided with a browser function that shows on a displaying means 15 through a switching means 14. Then, after connecting to the internet, the display of a 'history' item and the home page of a URL are shown in addition to each item such as files and edit on the screen of a browser. In such a case, the URL of a home page that is currently shown is stored in memory of the means 16. After that, at the time of moving home pages, the history is entirely stored in the memory. To return a home page, by showing a history menu in pull-down display and selecting the URL of a desired home page which is made into an icon, it is possible to return to the previous home page.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-143891

(43) 公開日 平成11年(1999) 5月28日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 17/30

G 0 6 F 15/403

3 8 0 C

H 0 4 N 5/44

H 0 4 N 5/44

A

G 0 6 F 15/403

3 2 0 A

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号

特願平9-304449

(22) 出願日

平成9年(1997)11月6日

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72) 発明者 恩田 哲朗

埼玉県深谷市幡羅町1丁目9番2号 株式

会社東芝深谷工場内

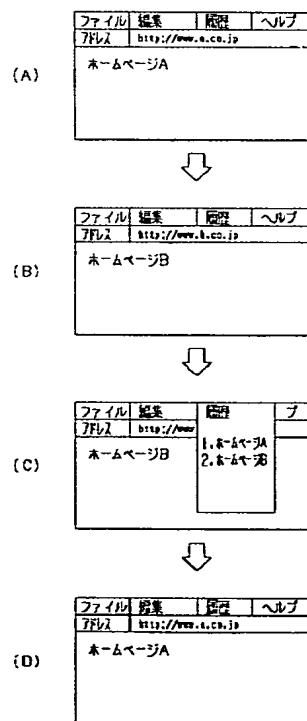
(74) 代理人 弁理士 伊藤 進

(54) 【発明の名称】 インターネット内蔵テレビ受像機

(57) 【要約】

【課題】 少ない記憶容量でも、既に検索・閲覧したホームページの中から容易に希望のホームページに戻ることができるようにし、操作性の向上を図ったインターネット内蔵テレビ受像機を提供すること。

【解決手段】 ホームページを検索・閲覧するごとにそのホームページのURLを自動的に記憶し、元のホームページに戻るときには“履歴”項目を選択することによりURLの履歴をメニュー形式で表示する。そのメニュー表示から希望のホームページを選択すれば、希望の元のホームページに接続して（を呼び出して）見ることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 テレビジョン信号を受信し復調して表示手段に表示するテレビ受像機能のほかに、インターネットに接続して WWW サーバーを検索し前記表示手段の画面に表示するブラウザの機能を備えたインターネット内蔵テレビ受像機であって、前記ブラウザの機能は、ホームページの URL の履歴をメモリに記憶する手段と、前記メモリに記憶した URL の履歴を、アイコン化した URL（または、URL）としてメニュー形式で画面に表示する手段と、表示されたメニューから、希望のアイコン化された URL（または、URL）を選択する手段と、選択された URL のホームページへ接続する手段とを具備したことを特徴とするインターネット内蔵テレビ受像機。

【請求項 2】 テレビジョン信号を受信し復調して表示手段に表示するテレビ受像機能のほかに、インターネットに接続して WWW サーバーを検索し前記表示手段の画面に表示するブラウザの機能を備えたインターネット内蔵テレビ受像機であって、前記ブラウザの機能は、ユーザーが希望するホームページの URL をメモリに記憶する手段と、前記メモリに記憶した URL を画面にアイコン表示する手段と、表示されたアイコンから希望のアイコンを選択する手段と、選択されたアイコンのホームページへ接続する手段とを具備したことを特徴とするインターネット内蔵テレビ受像機。

【請求項 3】 テレビジョン信号を受信し復調して表示手段に表示するテレビ受像機能のほかに、インターネットに接続して WWW サーバーを検索し前記表示手段の画面に表示するブラウザの機能を備えたインターネット内蔵テレビ受像機であって、前記ブラウザの機能は、ユーザーが希望するホームページの URL をメモリに記憶する手段と、前記メモリに記憶した URL を、アイコン化した URL（または、URL）としてメニュー形式で画面に表示する手段と、表示されたメニューから希望のアイコン化された URL（または、URL）を選択する手段と、選択された URL のホームページへ接続する手段とを具備したことを特徴とするインターネット内蔵テレビ受像機。

【請求項 4】 テレビジョン信号を受信し復調して表示手段に表示するテレビ受像機能のほかに、インターネット

に接続して WWW サーバーを検索し前記表示手段の画面に表示するブラウザの機能を備えたインターネット内蔵テレビ受像機であって、前記ブラウザの機能は、ユーザーが希望するホームページの URL および表示内容をメモリに記憶する手段と、前記メモリに記憶した URL の表示内容を画面に多画面形式で表示する手段と、表示された多画面の中から希望の画面を選択する手段と、選択された画面のホームページへ接続する手段とを具備したことを特徴とするインターネット内蔵テレビ受像機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はインターネット内蔵テレビ受像機に係り、特に少ない記憶容量でも、検索・閲覧したホームページの中から容易に希望のホームページに戻ることができるようにしたインターネット内蔵テレビ受像機に関する。

【0002】

【従来の技術】 インターネットが急速に普及しつつある。パソコンだけでなくテレビ受像機においてもインターネットに接続する機能を有したインターネット内蔵テレビ受像機が開発されている。

【0003】 パソコンの場合、通常はハードディスク内に、インターネットに接続してインターネット上の WWW（ワールド・ワイド・ウェブ）サーバーを検索・閲覧するためのブラウザと呼ばれるソフトウェアがインストールされている。

【0004】 インターネット内蔵テレビ受像機の場合は、テレビジョン信号を受信し復調して CRT 等の表示手段に表示するテレビ受像機能のほかに、インターネットに接続して WWW サーバーを検索し前記表示手段の画面に表示して閲覧するブラウザの機能を備えている。

【0005】 通常、インターネットのホームページを検索・閲覧する方法としては、“URL（ユニフォーム・リソース・ロケーター）を直接入力する”方法と、“ホームページの中の文字や写真等をクリック”する方法がある。

【0006】 “URL を直接入力”する方法では、ユーザーが希望するホームページの URL を覚えておかなければならない。よく閲覧するホームページの場合、現行のブラウザではその URL をブラウザに登録しておき、登録した URL（或いはアイコン化された URL）の中から希望のホームページの URL を選択できるようになっている。

【0007】 “文字や写真をマウスでクリック”してホームページを検索・閲覧する方法は、ホームページの本文中に埋め込まれているリンク先のアドレスを、文字や写真の部分をクリックすることで、関連情報のあるホー

ムページへ移行できるようにしたもので、ユーザーがホームページのURLを知らなくても関連したホームページへ移動し、簡単に関連情報を閲覧することができる。

【0008】インターネットではホームページからリンク先のホームページへ渡り歩く“ネットサーフィン”が頻繁に行われている。

【0009】このような“ネットサーフィン”を行う場合、リンク先のホームページから前のホームページへ戻ることが頻繁に行われる。戻り先は一つ前のホームページの場合もあるし、もっと前のホームページの場合もある。

【0010】パソコンの場合、閲覧した情報はハードディスク等に記憶され、ユーザーが前のホームページへ戻りたいと思った場合、ブラウザ画面の上部にある「戻る」ボタンをクリックすると、ハードディスク等の記憶装置からデータが呼び出される。これを何回か繰り返すことにより希望のホームページへ戻ることができる。

【0011】パソコンの場合はメモリやハードディスクの容量も大きく、多量の情報を記憶しておくことが可能であり、検索・閲覧した複数のホームページの情報の全てを記録するようになっている。

【0012】しかし、テレビ受像機にインターネットのブラウザ機能を内蔵する場合はコストを抑える為にメモリを最小限に抑えることが必要であり、ハードディスクについても内蔵しない可能性が高い。このようにインターネット内蔵テレビ受像機ではハードウェアに制約があるため、ホームページの全ての情報をメモリに蓄えることができず、元のホームページへ戻するための何らかの工夫が必要である。

【0013】

【発明が解決しようとする課題】上記の如く、テレビ受像機にインターネットのブラウザ機能を内蔵する場合はコストを抑える為にメモリやハードディスクなどの記憶容量を最小限に抑えることが必要であり、ホームページの全ての情報をメモリに蓄えることができず、元のホームページへ戻するための何らかの工夫が必要であった。

【0014】そこで、本発明は上記の問題に鑑み、少ない記憶容量でも、検索・閲覧したホームページから容易に希望のホームページに戻ることができるようにし、操作性の向上を図ったインターネット内蔵テレビ受像機を提供することを目的とするものである。

【0015】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、テレビジョン信号を受信し復調して表示手段に表示するテレビ受像機能のほかに、インターネットに接続してWWWサーバーを検索し前記表示手段の画面に表示するブラウザの機能を備えたインターネット内蔵テレビ受像機であって、前記ブラウザの機能は、ホームページのURLの履歴をメモリに記憶する手段と、前記メモリに記憶したURLの履歴を、アイコン化したURL（または、

URL）としてメニュー形式で画面に表示する手段と、表示されたメニューから、希望のアイコン化されたURL（または、URL）を選択する手段と、選択されたURLのホームページへ接続する手段とを具備したことを特徴とする。

【0016】請求項1記載の発明においては、ホームページを検索・閲覧するごとにそのホームページのURLの履歴を自動的に記憶し、元のホームページに戻るときには画面上の例えば“履歴”項目を選択することによりURLの履歴をメニュー形式で表示し、該メニュー表示から希望のホームページを選択すれば、元の希望のホームページに接続して見ることができる。

【0017】請求項2記載の発明は、テレビジョン信号を受信し復調して表示手段に表示するテレビ受像機能のほかに、インターネットに接続してWWWサーバーを検索し前記表示手段の画面に表示するブラウザの機能を備えたインターネット内蔵テレビ受像機であって、前記ブラウザの機能は、ユーザーが希望するホームページのURLをメモリに記憶する手段と、前記メモリに記憶したURLを画面にアイコン表示する手段と、表示されたアイコンから希望のアイコンを選択する手段と、選択されたアイコンのホームページへ接続する手段とを具備したことを特徴とする。

【0018】請求項2記載の発明においては、ホームページを検索・閲覧している過程（例えばネットサーフィン）で、希望のホームページが表示されている状態で、特定のキーが操作されることによってそのホームページのURLを記憶しかつその記憶したURLを画面上にアイコン表示する。元のホームページに戻るときには画面上に表示されたアイコンの中から希望のアイコンを選択すれば、元の希望のホームページに接続して見ることができる。

【0019】請求項3記載の発明は、テレビジョン信号を受信し復調して表示手段に表示するテレビ受像機能のほかに、インターネットに接続してWWWサーバーを検索し前記表示手段の画面に表示するブラウザの機能を備えたインターネット内蔵テレビ受像機であって、前記ブラウザの機能は、ユーザーが希望するホームページのURLをメモリに記憶する手段と、前記メモリに記憶したURLを、アイコン化したURL（または、URL）としてメニュー形式で画面に表示する手段と、表示されたメニューから希望のアイコン化されたURL（または、URL）を選択する手段と、選択されたURLのホームページへ接続する手段とを具備したことを特徴とする。

【0020】請求項3記載の発明においては、ホームページを検索・閲覧している過程（例えばネットサーフィン）で、希望のホームページが表示されている状態で、特定のキーが操作されることによってそのホームページのURLを記憶し、元のホームページに戻るときには画面上に例えば“しおり”項目を選択することにより記憶

したURLをメニュー形式で表示し、該メニュー表示から希望のホームページを選択すれば、元の希望のホームページに接続して見ることができる。

【0021】請求項4記載の発明は、テレビジョン信号を受信し復調して表示手段に表示するテレビ受像機能のほかに、インターネットに接続してWWWサーバーを検索し前記表示手段の画面に表示するブラウザの機能を備えたインターネット内蔵テレビ受像機であって、前記ブラウザの機能は、ユーザーが希望するホームページのURLおよび表示内容をメモリに記憶する手段と、前記メモリに記憶したURLの表示内容を画面に多画面形式で表示する手段と、表示された多画面の中から希望の画面を選択する手段と、選択された画面のホームページへ接続する手段とを具備したことを特徴とする。

【0022】請求項4記載の発明においては、ホームページを検索・閲覧している過程（例えばネットサーフィン）で、希望のホームページが表示されている状態で、特定のキーが操作されることによってそのホームページのURL及び表示内容を記憶しかつその記憶したURLの表示内容を多画面に表示する。元のホームページに戻るときには表示された多画面の中から希望の画面を選択すれば、元の希望のホームページに接続して見ることができる。

【0023】

【発明の実施の形態】発明の実施の形態について図面を参照して説明する。図1は本発明に係るインターネット内蔵テレビ受像機の構成を示すブロック図である。

【0024】図1において、インターネット内蔵テレビ受像機10は、アンテナ11に入力したテレビジョン信号をチューナ12で受信し復調手段13で復調した後、切換手段14を経てCRT等の表示手段15に表示するテレビ受像機能のほかに、マイコンで構成される制御手段16内のブラウザの機能と該制御手段16に接続したモデム17とを使用し、モデム17から電話回線19及びプロバイダー20を経由してインターネット21に接続し、リモコンなどの操作手段18の操作によりインターネット21上のWWWサーバーを検索した情報をモデム17を通して制御手段16にてデコードし、切換手段14を経て前記表示手段15の画面に表示して閲覧することを可能とするブラウザの機能を備えている。

【0025】前記制御手段16は、例えば演算処理を行うCPUと、プログラムメモリであるROMと、データメモリであるRAMとを備えたマイコンで構成され、上記のブラウザの機能のほかに、操作手段18の操作に基づきチューナ12での選局処理、復調手段13における映像信号処理（輝度やコントラストなどの調整）及び色信号処理（カラー調整など）、及び切換手段14の切換え制御を行う機能を有している。なお、制御手段16に対して記憶容量を増やす目的でさらにメモリ（RAM）を外付けしてもよい。

【0026】前記操作手段18は、例えばリモコンで構成され、テレビ受像機能に必要な各種のキーのほかに、テレビかインターネットかを切り換えるための切換キーや、インターネットへの接続及びWWWサーバーの検索・閲覧を行うためのブラウザ機能に必要な選択キー（或いはカーソル移動キー）及び決定キー（実行キー）を備えている。

【0027】図2は図1のインターネット内蔵テレビ受像機の制御手段におけるインターネット切換え後の第1の動作形態を示すフローチャートであり、図3はその様子を示す表示画面の図である。

【0028】図2及び図3の実施の形態は、検索・閲覧した全てのホームページの履歴をメモリに記憶し、その記憶した履歴をメニュー形式で表示可能とし、該メニューから希望のホームページの“アイコン化されたURL”（または、URL）を選択することにより元のホームページへ戻る実施の形態である。

【0029】図2において、操作手段18の切換えキーの操作によってインターネットへの切り換えを行った後、プロバイダー20に対して電話回線による接続を行う（ステップS11）。インターネット接続後はブラウザの画面（ウインドウ）が表示され、その画面にはファイル、編集、ヘルプ等の各項目のほかに“履歴”項目の表示と、初期設定のURLのホームページが検索されて表示される（ステップS12）。このとき、URLのホームページが検索・閲覧されると同時に制御手段16のメモリに現在表示中のホームページのURLを記憶する（ステップS13）。その後、ホームページ画面のリンク先のURL、予め登録してある複数のURLの中の希望するURL、或いは直接入力したURLによって次のホームページを検索・閲覧するごとに、ホームページのURLを前記メモリに記憶する（ステップS14、S15）。そして、ブラウザ画面の“履歴”項目にカーソル等を当てることにより、アイコン化されたURL（或いはURL）の履歴をメニュー形式で表示し（ステップS16）、該メニューから希望のアイコン化されたURL（或いはURL）を選択することにより、元の希望のURLのホームページを検索・閲覧する（ステップS17、S18）。

【0030】図3（A）、図3（B）の様にホームページを移動すると、その履歴が全てメモリに記憶される。ホームページに戻るには、図3（C）の様に履歴メニューをプルダウン表示しその中から希望のホームページの“アイコン化されたURL”（または、URL）を選択することにより前のホームページへ戻る（図3（D））。

パソコンでは移動したホームページの情報を全て記録しているため膨大な記憶容量を必要とするが、本実施の形態のインターネット内蔵テレビ受像機ではURLの履歴だけをメモリに記憶することにより記憶容量を少なくできる。

【0031】図4は図1のインターネット内蔵テレビ受

像機の制御手段におけるインターネット切換え後の第2の動作形態を示すフローチャートであり、図5はその様子を示す表示画面の図である。

【0032】図4及び図5の実施の形態は、戻りたい希望のホームページについてはメモリに記憶しかつ“アイコン化されたURL”として画面上にアイコン表示し、それらのアイコン表示から希望のアイコンを選択することで前のホームページへ戻る実施の形態である。

【0033】図4において、操作手段18の切換えキーの操作によってインターネットへの切り換えを行った後、プロバイダー20に対して電話回線による接続を行う(ステップS21)。インターネット接続後はブラウザの画面(ウインドウ)が表示され、その画面にはファイル、編集、ヘルプ等の各項目の表示と、初期設定のURLのホームページが検索されて表示される(ステップS22)。その後、ホームページ画面のリンク先のURL、予め登録してある複数のURLの中の希望するURL、或いは直接入力したURLによって次のホームページを検索・閲覧し(ステップS23)、希望のホームページが表示されている状態で特定のキーが操作されることによってそのホームページのURLをメモリに記憶しかつ記憶したURLをアイコン化して画面上に表示する(ステップS24、S25)。同様にして、ステップS26～S28を行い、別の希望のホームページのURLをメモリに記憶すると同時に記憶したURLをアイコン化して画面上に表示する。そして、ブラウザ画面に表示されたURLのアイコンから、希望のアイコンを選択する(ステップS29)ことにより、元の希望のURLのホームページを検索・閲覧する(ステップS30)。

【0034】例えば、図5(A)で表示されているホームページAが、後で戻りたいホームページである場合、図5(B)の様にホームページAのURLをメモリに記憶しかつアイコン表示(Home Page A)させる。後でこのアイコン(Home Page A)を選択することによりホームページAへ戻ることを可能にする。図5(C)はホームページCに移動した状態であり、図5(C)と図5(D)はアイコン(Home Page A)を選択し、ホームページCからホームページAへ戻った状態を示している。

【0035】図6は図1のインターネット内蔵テレビ受像機の制御手段におけるインターネット切換え後の第3の動作形態を示すフローチャートであり、図7はその様子を示す表示画面の図である。

【0036】図6及び図7の実施の形態は、戻りたい希望のホームページについてはそのURLをメモリに記憶しそれらのURLをメニュー表示可能とし、該メニューから希望のホームページの“アイコン化されたURL”(または、URL)を選択することにより元のホームページへ戻る実施の形態である。

【0037】図6において、操作手段18の切換えキーの操作によってインターネットへの切り換えを行った

後、プロバイダー20に対して電話回線による接続を行う(ステップS41)。インターネット接続後はブラウザの画面(ウインドウ)が表示され、その画面にはファイル、編集、ヘルプ等の各項目の表示のほかに“しおり”項目の表示と、初期設定のURLのホームページが検索されて表示される(ステップS42)。その後、ホームページ画面のリンク先のURL、予め登録してある複数のURLの中の希望するURL、或いは直接入力したURLによって次のホームページを検索・閲覧し(ステップS43)、希望のホームページが表示されている状態で特定のキーが操作されることによってそのホームページのURLをメモリに記憶する(ステップS44)。同様にして、ステップS45、S46を行い、別の希望のホームページのURLをメモリに記憶する。そして、ブラウザ画面の“しおり”項目にカーソル等を当てることにより、アイコンされたURL(或いはURL)をメニュー形式で表示し(ステップS47)、該メニューから希望のアイコン化されたURL(或いはURL)を選択することにより、元の希望のURLのホームページを検索・閲覧する(ステップS48、S49)。

【0038】図7では、ホームページA、B、C、Dを検索・閲覧した場合、その中のホームページAとCに戻ることを可能とする場合について説明する。ホームページAのURLをメモリに記憶する(図7(A))。次に、ホームページB、ホームページCへ移動し、ホームページCのURLを記憶したとする。次に、ホームページDへ移動し、ここで前のホームページAへ戻る場合、“しおりのメニュー”からホームページAの“アイコン化されたURL”(または、URL)を選択する。“しおりのメニュー”には以前記憶したホームページAとCの“アイコン化されたURL”(または、URL)が表示される。図7(E)の様にしおりメニューをプルダウン表示しその中から希望のホームページの“アイコン化されたURL”(または、URL)を選択することにより前のホームページへ戻る(図7(F))。

【0039】図8は図1のインターネット内蔵テレビ受像機の制御手段におけるインターネット切換え後の第4の動作形態を示すフローチャートであり、図9はその様子を示す表示画面の図である。

【0040】図8及び図9の実施の形態は、戻りたい希望のホームページについてはそのURL及び表示内容メモリに記憶し、それらの記憶した表示内容を多画面表示し、その多画面の中から希望の画面を選択することにより希望のホームページへ戻る実施の形態である。

【0041】図8において、操作手段18の切換えキーの操作によってインターネットへの切り換えを行った後、プロバイダー20に対して電話回線による接続を行う(ステップS51)。インターネット接続後はブラウザの画面(ウインドウ)が表示され、その画面にはファイル、編集、ヘルプ等の各項目の表示と、初期設定のURL

Lのホームページが検索されて表示される(ステップS52)。その後、ホームページ画面のリンク先のURL、予め登録してある複数のURLの中の希望するURL、或いは直接入力したURLによって次のホームページを検索・閲覧し(ステップS53)、希望のホームページが表示されている状態で特定のキーが操作されることによってそのホームページのURL及び表示内容をメモリに記憶しかつ記憶したURLの表示内容を多画面形式で表示する(ステップS54、S55)。同様に、ステップS56～S58を行い、別の希望のホームページのURL及び表示内容をメモリに記憶すると同時に記憶したURLの表示内容を多画面形式で表示する。そして、ブラウザ画面に表示された多画面の中から、キー操作により希望の画面を選択する(ステップS59)ことにより、元の希望のURLのホームページを検索・閲覧する(ステップS60)。

【0042】例えば、図9(A)で表示されているホームページAが、後で戻りたいホームページである場合、図9(A)においてホームページAのURLと共に画面を記憶し、左画面に表示する(図9(B))。次に、ホームページBへ移ると右画面はホームページBになる(図9(C))。ここで、ホームページBのURLと画面を記憶すると、左画面にホームページAとBが表示される(図9(D))。次に、ホームページCに移動すると右画面はホームページCの画面になる(図9(E))。ここで、ホームページCのURLと画面を記憶すると、左画面にホームページA、B、Cが表示される。ホームページAへ戻るには左画面に表示されたホームページA、B、Cの中からAを選択する(図9(G))。図5(G)はホームページCからホームページAへ戻った状態を示している。

【0043】図8及び図9の実施の形態の場合は、URLだけでなく画面も記憶するので、URLだけを記憶する場合と比べメモリを必要とする。しかし、画面を分割して表示するため、パソコンのように全てのホームページを記憶するよりは記憶容量を少なくできる。

【0044】以上の第1～第4の実施の形態の機能は“しおり”の機能に相当し、一時的に使用されることが多く、前述の予め「ホームページのURLをブラウザに登録する」のとは使い方が異なる。

【0045】従って、インターネットを終了または電源を切るとこの情報も消える様なテンポラリーな使い方に限定することにより不要なデータが増加するのを防げるため、記憶容量を少なくできる。

【0046】第1の実施の形態は、検索・閲覧した全てのホームページのURLの履歴をメモリに記憶し、その履歴メニューを表示する。第2の実施の形態は、検索・閲覧したホームページの内の選択したホームページのURLをメモリに記憶し、その記憶したホームページにつ

いて“アイコン化したURL”を画面上にアイコン表示する。第3の実施の形態は、検索・閲覧したホームページの内の選択したホームページのURLをメモリに記憶し、その記憶したホームページについて“アイコン化したURL”をメニュー表示する。第4の実施の形態は、検索・閲覧したホームページの内の選択したホームページのURL及び画面をメモリに記憶し、それを画面上に分割して表示する。各実施の形態で、履歴メニュー、アイコン表示、メニュー表示、多画面表示の中から希望のホームページを選択することにより、簡単に以前のホームページへ戻ることを可能にする。

【0047】以上により、少ない記憶容量でも、簡単に前のホームページへ戻ることが可能となり、家電製品のように大容量の記憶装置を持たない機器でもインターネットを比較的快適に操作して楽しむことが可能となる。

【0048】

【発明の効果】以上述べたように本発明によれば、インターネット内蔵テレビ受像機において、少ない記憶容量でも既に検索・閲覧した以前のホームページへ容易に戻ることができ、インターネットを快適に操作して楽しむことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るインターネット内蔵テレビ受像機の構成を示すブロック図。

【図2】図1のインターネット内蔵テレビ受像機の制御手段におけるインターネット切換え後の第1の動作形態を示すフローチャート。

【図3】図2の動作を示す表示画面の図。

【図4】図1のインターネット内蔵テレビ受像機の制御手段におけるインターネット切換え後の第2の動作形態を示すフローチャート。

【図5】図4の動作を示す表示画面の図。

【図6】図1のインターネット内蔵テレビ受像機の制御手段におけるインターネット切換え後の第3の動作形態を示すフローチャート。

【図7】図6の動作を示す表示画面の図。

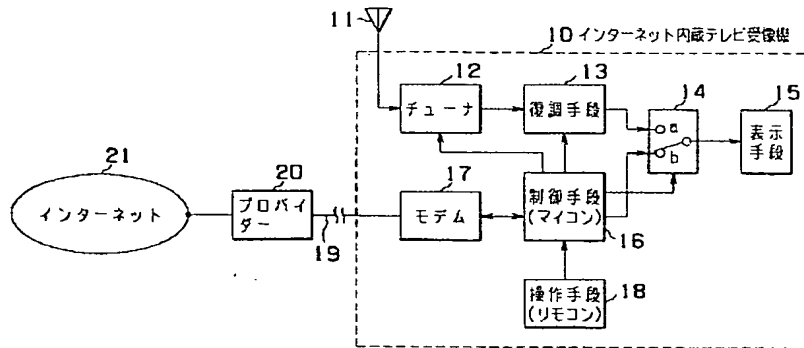
【図8】図1のインターネット内蔵テレビ受像機の制御手段におけるインターネット切換え後の第4の動作形態を示すフローチャート。

【図9】図8の動作を示す表示画面の図。

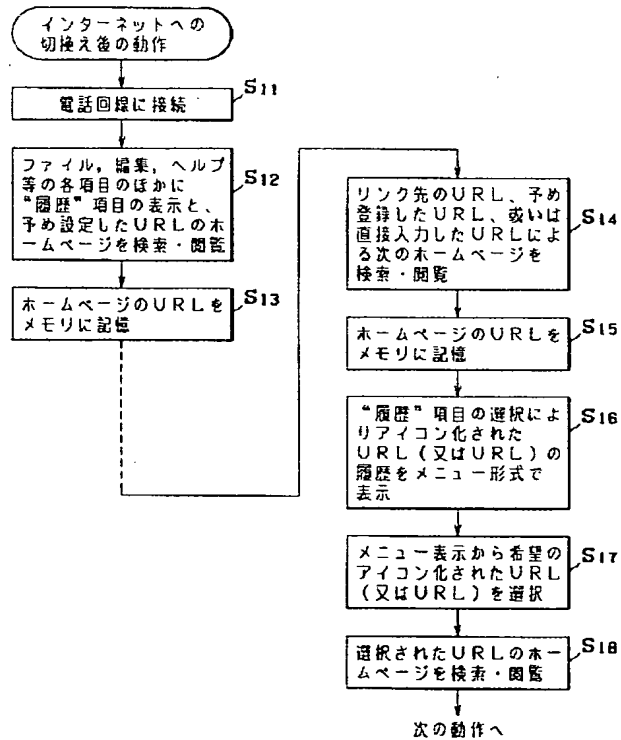
【符号の説明】

10…インターネット内蔵テレビ受像機
14…切換え手段
15…表示手段
16…制御手段(ブラウザ機能を含む)
17…モデム
18…操作手段
19…電話回線
21…インターネット

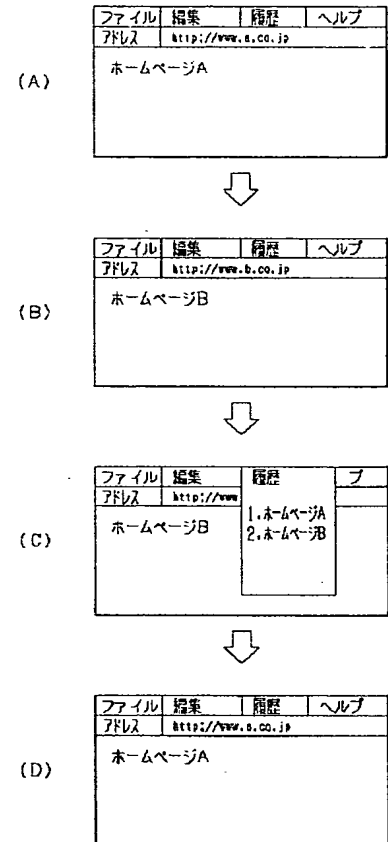
【図 1】



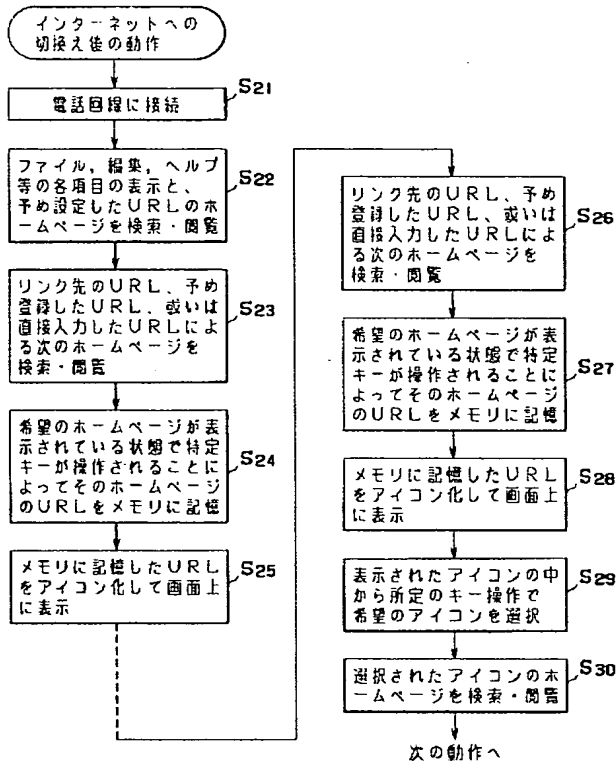
【図 2】



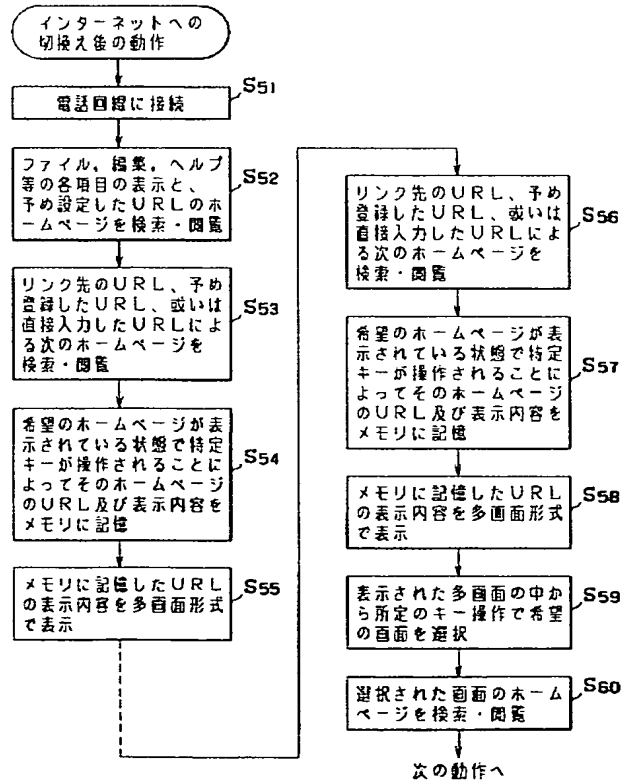
【図 3】



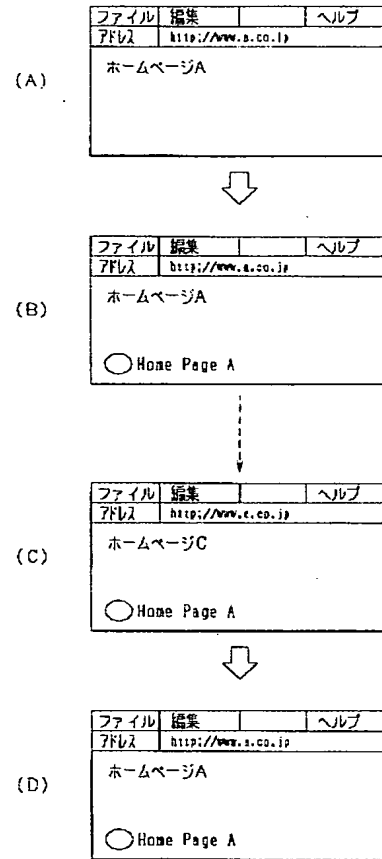
【図 4】



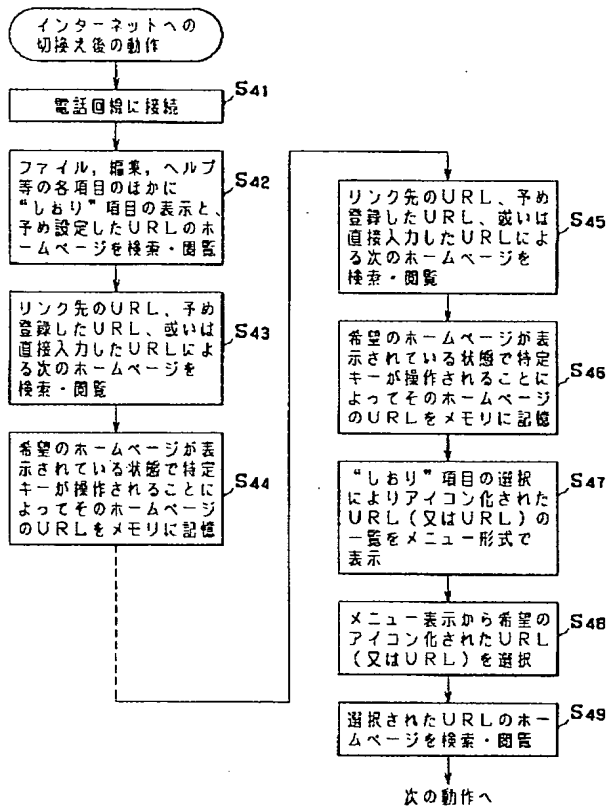
【図 8】



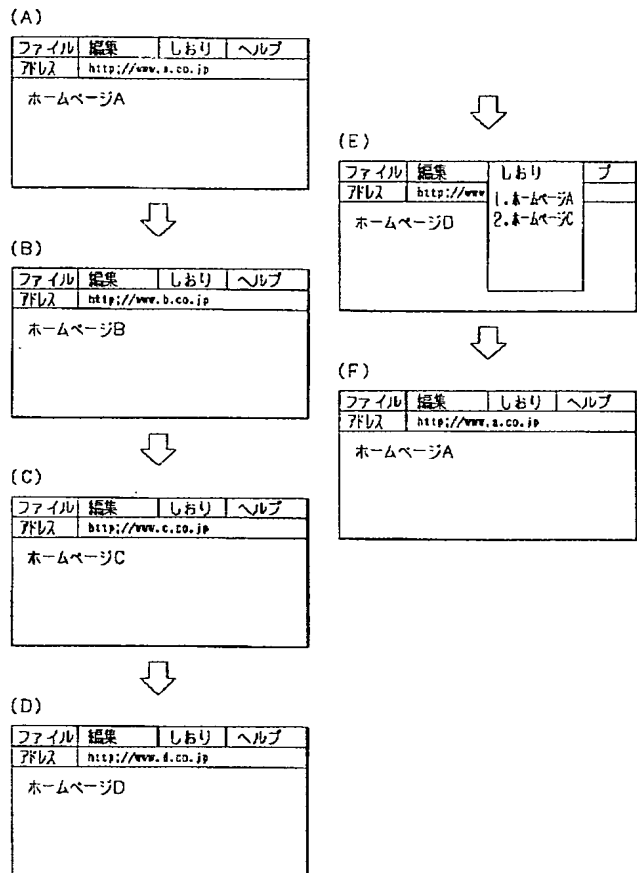
【図 5】



【図6】



【図7】



【図 9】

